

第84期 中間報告書

平成24年4月1日 ▶ 平成24年9月30日

株式会社朝日工業社



当第2四半期のポイント

受注高 **34,783**百万円 (前年比**3.0**%増)

売上高 **24,820**百万円 (前年比**11.5**%減)

営業利益 Δ **2,036**百万円 (前年比**1,552**百万円減)

四半期純利益 Δ **1,302**百万円 (前年比**1,009**百万円減)

Top Message

トップメッセージ



営業力の強化と原価低減の更なる推進によって、業績回復に全力で取り組みます。

代表取締役社長 **高須 康有**

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、第84期中間報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

期中の市場環境について

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要や堅調な個人消費を背景に、内需主導で底堅く推移する中、緩やかに持ち直しているものの、欧州の債務問題に絡む混乱の長期化や新興国経済の減速は景気の先行きを不透明なものとしております。

当社グループの関連事業の環境は、設備工事事業につきましては、今年度設備投資計画について堅調な伸びを見込む向きもあるものの、受注をめぐる価格競争は依然として厳しい状況で推移いたしました。精密環境制御機器の製造販売事業につきましては、昨年堅調であったフラットディスプレイ向けの製造装置は、設備投資の大幅な減少の影響を受け、生産および販売ともに低調に推移いたしました。

通期の見通しについて

第3四半期以降の見通しにつきましては、海外経

済の減速や日中間の外交問題が緩やかに持ち直している日本経済に少なからず影響を与える懸念があり不透明感が残る状況にあります。

当社グループの関連事業の環境は、設備工事事業につきましては、受注環境の緩和は期待し難く、熾烈な受注価格競争は今後も続くものと思われま。機器製造販売事業につきましては、上半期に比べ液晶向け露光装置は生産および販売はいくぶん上向くと思われまますが、世界的な設備投資の減少を受け、昨事業年度に比べますと大幅な減少になると思われま。

株主の皆様へのメッセージ

このような中、設備工事事業においては、首都圏地区の受注力強化を図るため本社人員の営業店への異動を含めた営業体制の強化を行いました。また、施工段階における原価低減活動を更に推進し、利益重視の経営の徹底を図ってまいります。機器製造販売事業においては、生産の効率化や原価低減活動を引き続き推進いたします。厳しい経営環境は今後も続くと思われまますが、グループ一丸となって業績回復に全力を挙げて取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも特段のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



朝日工業社のCSR活動

当社は、2008年度より『環境報告書』を発行し、株主の皆様をはじめとするステークホルダーへ企業としての環境活動への取り組みについてご報告してまいりましたが、当社が果たす社会的責任について更に幅広くご報告するとともに、今後の取り組

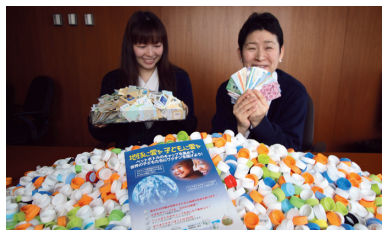
みのレベルアップを目指すため、今年度(2012年度)から『CSRレポート』を発行いたしました。以下に、当社が推進しています社会貢献活動についてご紹介いたします。

全社的な取り組み

社内の社会貢献意識を高揚させるには社員一人一人の日々の活動が重要と考え、全社を挙げて次の活動に参加しています。

○ エコキャップ運動

ペットボトルのキャップを回収し、これを再資源化することで発展途上国の子供たちにポリオワクチンを贈るものです。2011年度はポリオワクチン127個分に相当する101,980個のキャップを回収しました。



○ 緑の地球防衛基金

使用済みの切手やテレホンカード、外貨コインに未使用はがきなどを回収、寄贈して世界各地の植林活動を支援する活動です。2011年度は、使用済みの切手10.46kg、使用済みのテレホンカード1,302枚を回収し当該基金へ寄贈しました。



CSRレポートをホームページに掲載しております。

http://www.asahikogyosha.co.jp/csr/environment_report.html

事業所ごとの取り組み

「エコキャップ運動」や「緑の地球防衛基金」の他に事業所ごとに地域に根差した活動にも取り組んでいます。そのうちの2つの活動をご紹介します。

○ やめよう! 歩行喫煙キャンペーン

本社と本店がある東京都港区の芝地区内において、年間10回開催されている港区主催の環境美化活動「やめよう! 歩行喫煙キャンペーン」に、2011年10月より毎回参加しています。駅周辺での喫煙マナーの啓発や清掃などが主な活動内容ですが、社長以下の役職員が持ち回りで参加することにより、社内の社会貢献活動に対する意識も自然と高まっています。実際に参加すると、町をきれいにしているという想いも強ま

り、「いい汗かいて、気持ち良かった」と参加者の感想も上々で、今後も引き続き参加していく予定です。



○ 通勤路 花壇美化活動

北関東支店では、支店の移転とさいたま市の歩道整備の完了をきっかけに、地域の皆さんに「気持ちのよい通勤」をしてもらうため、2011年5月から毎月第二火曜日に、歩道と自転車道の間にある花壇の除草とゴミ拾いに支店を挙げて取り組んでいます。最初は不慣れで、草の葉だけを取るため一週間もするとともに木阿弥となっていました。最近では根までしっかり取れるようになり、1か月間は美観が保てるようにな

りました。近隣の皆さんからも「ご苦労様です」と声を掛けていただけるようになり、「来月も頑張って活動するぞ」とやる気が湧いてくるこの頃です。



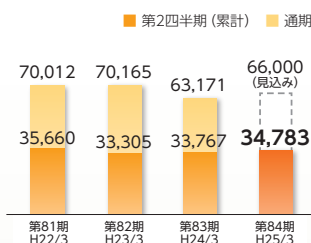


財務ハイライト

単位:百万円

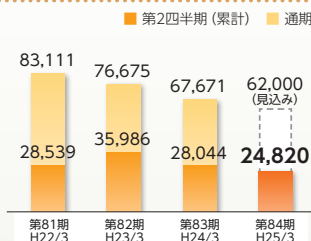
▶ 受注高

34,783百万円



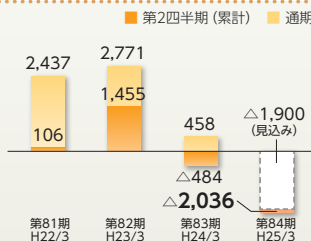
▶ 売上高

24,820百万円



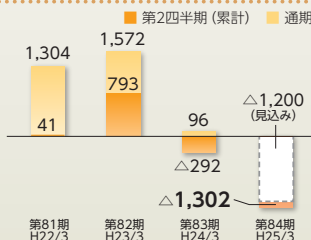
▶ 営業利益

△2,036百万円



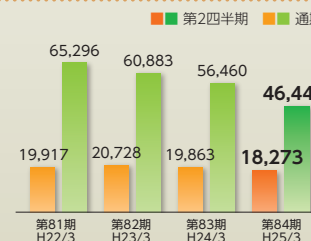
▶ 四半期(当期)純利益

△1,302百万円



▶ 純資産

18,273百万円



▶ 総資産

46,440百万円

連結財務諸表(要約)

貸借対照表

単位:百万円

	当第2四半期末 平成24年9月30日現在	前期末 平成24年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	34,156	43,998
固定資産	12,284	12,461
有形固定資産	4,711	4,765
無形固定資産	275	336
投資その他の資産	7,297	7,359
資産合計	46,440	56,460
(負債の部)		
流動負債	25,594	34,130
固定負債	2,573	2,466
負債合計	28,167	36,596
(純資産の部)		
株主資本	17,984	19,526
資本金	3,857	3,857
資本剰余金	3,721	3,721
利益剰余金	11,143	12,685
自己株式	△738	△738
その他の包括利益累計額	288	336
その他有価証券評価差額金	403	488
為替換算調整勘定	△114	△151
純資産合計	18,273	19,863
負債純資産合計	46,440	56,460

損益計算書

単位:百万円

	当第2四半期累計 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前年同期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
売上高	24,820	28,044
売上原価	24,450	25,951
売上総利益	370	2,092
販売費及び一般管理費	2,406	2,577
営業利益	△2,036	△484
営業外収益	133	117
営業外費用	43	53
経常利益	△1,945	△419
特別利益	17	12
特別損失	15	4
税金等調整前四半期純利益	△1,943	△411
法人税、住民税及び事業税	60	90
法人税等調整額	△701	△209
少数株主損益調整前四半期純利益	△1,302	△292
四半期純利益	△1,302	△292

キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

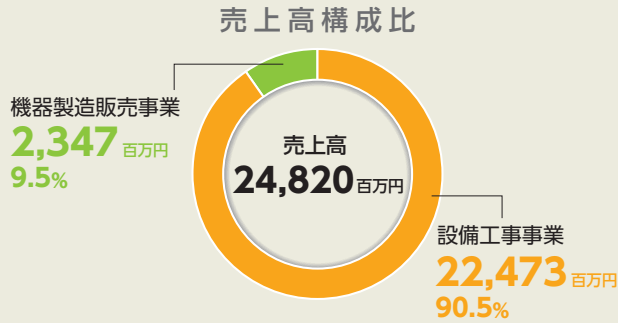
	当第2四半期累計 平成24年4月1日から 平成24年9月30日まで	前年同期 平成23年4月1日から 平成23年9月30日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	475	△3,059
投資活動による キャッシュ・フロー	△557	△258
財務活動による キャッシュ・フロー	△174	△1,197
現金及び現金同等物に係る 換算差額	36	△3
現金及び現金同等物の 増減額(△は減少)	△218	△4,519
現金及び現金同等物の 期首残高	6,926	14,420
現金及び現金同等物の 四半期末残高	6,707	9,901

財務の詳細内容は、当社ウェブサイトからご確認ください。

朝日工業社

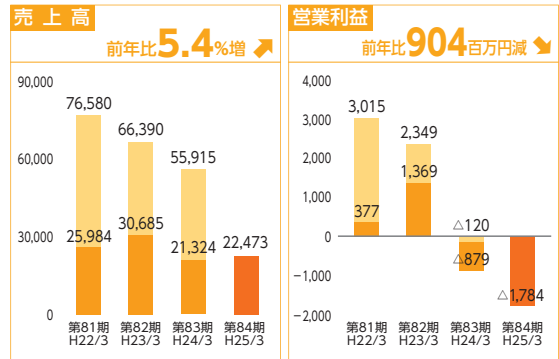
検索

■ セグメント情報



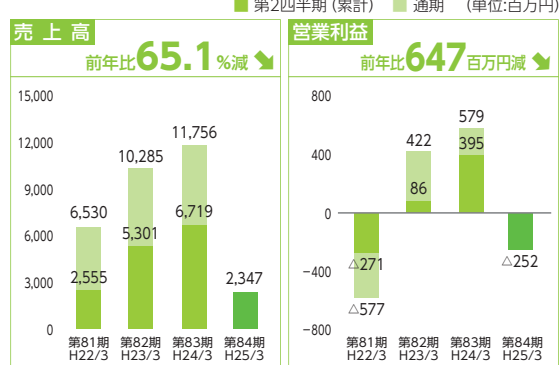
■ 設備工事事業

事業内容：空調調和、給排水衛生、クリーンルーム等の環境整備に関する諸設備の設計、施工および監理



■ 機器製造販売事業

事業内容：半導体および液晶製造装置向け精密環境制御機器の製造販売



会社の概況

(平成24年9月30日現在)

商号 株式会社朝日工業社
ASAHI KOGYOSHA CO.,LTD.

創業 大正14年4月3日

設立 昭和15年8月8日

資本金 3,857,100千円

代表者 代表取締役社長 高須康有

従業員数 936名(連結)、909名(単体)

事業内容 ■ 設備工事事業
■ 機器製造販売事業

事業所 本社および本店 (東京都港区)
大阪支社 (大阪市淀川区)
支店8ヶ所、営業所30ヶ所
機器事業部 (千葉県船橋市)
技術研究所 (千葉県習志野市)

建設業許可 国土交通大臣許可 (特-21) 第2822号
管工事業、電気工事業、
機械器具設置工事業、建築工事業

国土交通大臣許可 (般-21) 第2822号
消防施設工事業

連結子会社

(平成24年9月30日現在)

国内 北海道アサヒ冷熱工事株式会社
旭栄興産株式会社

海外 亞太朝日股份有限公司

株式の状況

(平成24年9月30日現在)

発行可能株式総数 78,198千株

発行済株式の総数 34,000千株

株主数 3,241名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
朝日工業社共栄会	1,975	6.18
朝日工業社西日本共栄会	1,922	6.02
朝日工業社従業員持株会	1,624	5.08
株式会社みずほ銀行	1,585	4.96
日本生命保険相互会社	1,567	4.90
農林中央金庫	1,440	4.50
高須康有	1,019	3.19
株式会社みずほコーポレート銀行	589	1.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	535	1.67
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	486	1.52

株式の所有者別分布状況

所有者	株主数	保有株式数	保有比率
個人・その他	3,014名	20,180千株	59.35%
金融機関	31名	8,840千株	26.00%
その他法人	129名	3,990千株	11.74%
外国法人等	47名	891千株	2.62%
金融商品取引業者	20名	99千株	0.29%
計	3,241名	34,000千株	100.00%

■ 株主メモ

■ 事業年度
4月1日～翌年3月31日

■ 定時株主総会
毎年6月

■ 基準日
定時株主総会 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
その他必要がある場合は予め公告いたします。

■ 株主名簿管理人・特別口座管理機関
東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

■ 郵便物送付先
〒168-8507
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

■ 電話お問い合わせ先
0120-288-324 (フリーダイヤル)
※土・日・祝日を除く9:00～17:00

■ 特別口座お取扱店
みずほ信託銀行株式会社
本店および全国各支店
みずほインベスターズ証券株式会社
本店および全国各支店

■ 単元株式数
1,000株

■ 上場金融商品取引所
東京および大阪証券取引所 (第一部)
証券コード1975

■ 公告方法
電子公告により行います。
<http://www.asahikogyosha.co.jp>
ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

※みずほインベスターズ証券株式会社は、平成25年1月4日以降はみずほ証券株式会社となります。
※証券会社に口座をお持ちの場合、未払配当金の支払および支払明細発行以外のお手続は、お取引の証券会社にお申し出ください。
※特別口座では単元未満株式の買取および買増以外の株式売買はできません。
※株券電子化前に名義書換を失念してお手元に他人名義の株券をお持ちの場合は至急上記「電話お問い合わせ先」までご連絡ください。

